



みのり

発行所 金光教寝屋川教会
 〒572-0037 寝屋川市葛原新町 1-11
 TEL 072-829-5129
 メール koichiyasui@yahoo.co.jp

5月の第二日曜日(12日)は、『母の日』ということで、感謝の言葉を添えて、ゆかり先生に子どもたちからきれいな花が届きました。花が大好きなものですから、さっそくご神前に供え、またプランターに植え替えて前庭を飾り、「きれいでしょ」と喜んでいました。

前々から信者さんたちのお世話もあって、玄関前の橋の両側にはプランターが並び、色鮮やかに初夏の風情をかもし出し、前を通る人たちの目を楽しませ、心を和ませてくれています。

感謝されますと、された人はうれしいし、それを見て、感謝した人も心が和み、双方の間に幸せな感情、幸せの実感が生まれるのではないのでしょうか。

四代金光様は次のように詠まれています。

- 世話になるすべてに礼をいふころ
世にあかるさをもたらすころ
- 世話になるすべてに礼をいふころ
人が助かりたちゆくころ
- 世話になるすべてに礼をいふころ
神をあらはし神になるころ

この「礼をいふころ」とは、言い換えれば、「感謝」のことだと思えます。

教祖様は、「神も人も同じこと。なんぼう神を拜んでも、人の心になかなねば神の心になかなねば。神の心になかなねば人の心にもかなねば」と御教えされています。

神様と人との関係や、御霊様と人との関係も、人と人との関係と同様だということです。

実際、何一つお世話にならねばできない私たちで、私は四恩ということで、

- 一、天地の御恵み
- 二、親先祖の遺徳
- 三、地域社会の恩恵
- 四、わが心身の働き

の四つに日々感謝すること、それを心の土台とする稽古が信心であり、おかげを受けていく道だと思えます。

私事で恐縮ですが、金光教教師にお取立て頂いて、50年。父は私が18歳の時、お道の御



安井雅子様書

用の途上、57歳で急逝しました。その時は、「なんで？」と不幸のどん底に落ちたような気がしました。ところが父の生前のお徳なのでしょう、お広前はかえって参拝者が増え、経済的に無理と思っていた大学進学ができました。当時大学では全共闘運動が盛んで、あまり勉強に身が入らない中、アルバイトに精を出し、社会科の教員資格だけはとって卒業しました。さて就職をと考えた時、祖父や父がお道を求めたように、人生

修行をしたいと金光学院を志願し、入学させて頂きました。学院で修行生活を進めつつも、卒業目前にして心が定まらず思い切って当時の教主金光様(四代様)にお取次願いました。

金光様のご理解は、
 ○なにひとつ世話にならねばなしえざる
 われぞと思ふ世話になりつつ

とのお歌のような内容で、心に深くしみわたり、おかげさまで今日まで、至らぬながら御用を続けてまいりました。25歳で結婚させて頂き、子ども6人、孫16人に恵まれ、教務所に6年間勤め、教会の集会所で学習塾を開き10年間勤めました。その間、PTA会長を2年務め、40歳から学校教員として10年勤務し、50歳の時に教会移転新築がなり、以後、教団会の御用、自治会の御用、民生委員の御用など、次々とお世話になり、お繰り合わせを頂いての今日です。周囲の方々よりご指導も頂き、感謝すべきことばかりですが、幾度か病床につくことがあり、今も病気を抱えています。「やれ痛やという心で、有難し、今みかげをという心になれよ」との教えを思い返しては、養生し、服薬もし、健康寿命を

頂き、この上とも御用に立たせて頂きたく願っています。「天地の間におかげ知った者なし、おいおい三千世界日天子の照らす下、万国まで残りなく金光大神できおかげ知らせいたす」とのご祈願に少しでも応えられるようにと念じています。

(教会長)



難波教会での天地金乃神大祭宣教

横浜西教会長 山田信二 師

金光教難波教会におきまして、5月22日午後2時より麗しくご祭事が奉仕されました。その節の宣教を次に紹介させていただきます。

○

私は22歳の時、金光学院の在籍外教会実習で扇町教会で修行させて頂きました。毎晩のように御教えを頂き、難波教会のご信心では「心配り」が大切と聞かせて頂きました。先生から指図されてから動くのでは遅い、目と体の動きを見てテキパキと応えられるようになるのが「心配り」だと教えられました。もう一つ教えられたことは、神様と人間との関係のことです。

- ① 人は神様に御利益を願い、神は人に御利益を与えという関係。
- ② 人は心も体も神様の中において、神様に包まれているという関係。

金光教の信心は②で、人は神様の中にすっぽり入っていて、それを教祖様は「目には見えぬが神の中を分けて通りおるようなもの」とか「神に会おうと思えば、庭の口を外へ出てみよ。空が神、下が神」と御教えされています。

さて、お願いがあるときだけお参りされて来る人がいます。問題があると参ってくる。そういう人にも神様はおかげを下さいます。それは、おかげを追いかけていく信心です。おかげの中に入れば、おかげの方が私たちを追って来てくれます。心が神様の中にすっぽり入り、神様と一つになっていれば安心です。そのためには、どんな時にもおかげを見落とさず、お礼を申し上げること。そして、神様と同じ方向を向いて生きていくこと。「お天道様のお照らしなさるのもおかげ、雨の降られるのもおかげ、人間はみな、おかげの中に生かされて生きている。人間は、おかげの中に生まれ、おかげの中で生活をし、おかげの中に死んでいくのである」とも御教え頂いています。

横浜西教会開教40年の年に、ある女性信奉者が朝のご祈念後、お届けされました。

「高校生の息子がバイクで事故を起こしました。私のご祈念が足りませんでした」とお詫びをされました。「しかし、命のおかげを蒙り、お礼申し上げます。神様が息子を上手に転がしてくださいました」とお礼申されました。バイクはメチャクチャに壊れてしまいましたが、息子の方は肩甲骨骨折で済み、その後、1週間足らずで退院できました。当初、保険も下りないということで、「それでも結構」と申されていましたが、結局、保険が下りることになり、そのお金で御本部にお礼参拝されました。神様のおかげを見逃さずにお礼を申していたら、次々におかげが展開し、おかげが

いてくるものです。

さらに大切なこととして、神様と同じ方を向くことです。教祖様は、安政6年10月に神様からの「世間になんぼうも難儀な氏子あり。取次助けてやってくれ」とのお頼みを受けられ、ここから金光教がスタートしました。「人が助かることさえできれば結構である」と教祖様はお取次の御用に立たれました。私たちもそのご姿勢に習わせて頂き、人の助かりを祈り、「救急車の音を聞けば、その人が助かるように」と祈り、病気であると聞けば「病気が回復しますように」との祈りを持たせて頂きたい。神様と同じ方を向いて信心させて頂きますと、おかげは後からついてきます。

最後に母親の信心について紹介させていただきます。8年前に母は亡くなりました。神奈川教会で育ち、一般家庭に嫁ぎました。活け花の師匠を長くしていましたが、神様のお役に立ちたいと、父の了解を得て53歳で金光学院に入り、その後、横浜西教会を開きました。晩年、上あごにできものができ、診察を受けますと、口腔がんとの診断で、抗がん剤の点滴を受けるようになり、痛み止めを服用していましたが、かんしつ性肺炎を起こし、3月9日に亡くなりました。

母は生前、「死ぬのは怖くない。信心して徳を積んでおけば、死んでからでもおかげを受けることができる。形がなくなったら、いつでも行ってあげられる」との揺るがぬ信念を持っていました。

3月1日に母は、「おひな祭はすんだのか」と聞き、翌日も同様に聞きました。3月3日のおひな祭の日は、芝教会に初参拝した祖父の入信記念日で、神様にきつとお礼を申し上げたかったでしょう。

3月8日の夜、病室にて寝袋で付き添っていた私は、母の息が消えゆく様子に気づき、手を握り、天地書附を唱え、母はそのまま亡くなりました。3月4日にお見舞いに来た信者に「総仕上げです」と言い、人生を振り返り、おかげを受けてきたお礼と、ここからの御用成就を祈願し、神様と一つになる総仕上げをさせて頂いていたのではないかと思います。



神様と一つになって生きること、神様のおかげを見落とさないこと、人の助かる御用に立ち、安心の境地を頂くこと。これが母の伝えたかった信心ではないかと思ひ、私もまたその信心を確かに受け、伝えてまいりたいと願っています。

金光教青少年少女会中近畿教区連合会主催
道の子大会のご案内

～於：六甲山アスレチックパーク～

青少年少女会活動の推進の上に日頃よりご協力を賜わり、有難うございます。

中近畿教区の青少年少女たちが一堂に集い、道のわかばの輪が広がることを願って、下記の通り道の子大会が開催されます。つきましては、繰り合わせ参加されますよう、ご案内申し上げます。

記

- 1 場 所：六甲山アスレチックパーク
神戸市灘区六甲山町北六甲 4512-98
 - 2 日 時：令和6年6月29日(土)
午前9時45分現地集合
※教会集合は7時45分、8時出発
 - 3 内 容：アスレチック(水上アスレチックあり)
を中心にパークを満喫
 - 4 参加費：4歳～高校生まで：1,000円
大学生以上：2,000円 3歳以下：無料
(入場料、保険代込み)
 - 5 持ち物：参加費、弁当水筒(昼食は各自)、
着替え(濡れる恐れあり)、タオル、
その他(虫よけ、酔い止めなど)
 - 6 申込み：6月10日までに、教会へお申込み
下さい。 電話 072-829-5129
- ※ 直接お車で行かれる場合、現地駐車場代は
1,000円です。

【日 程】

- 10:00 開会式
10:15 アスレチック(自由行動)
12:00 昼食
13:00 アスレチック
15:00 閉会式
15:30 解散

※集合場所などの詳細は後日、参加者に連絡。

雨天の場合は中止します。(前日までに連絡)



2024年

第30回

女性のつどい

テーマ: 信心の勢い増し増しの会

日時: 7月15日(海の日) 13時30分～15時30分
場所: 金光教玉水記念大ホール(地下鉄四ツ橋線 肥後橋駅8番出口)

第1部
講演: 武部 和加子 先生 (金光教香櫨園教会教師)
講題: 「一死生ない父母に巡り会う」

第2部
バンド演奏: 金光大阪高等学校 軽音楽同好会

バンド名	曲 目
★ Small Noise	★ 小さな恋のうた(MONGOL800)
★ マウンテンテュー	★ 水平線(back number)
★ Space Summer	★ 銀河鉄道 999(GODIEGO)
★ エムジユイット	★ 空も飛べるはず(スピッツ)

主催: 金光教中近畿教区信徒会

中近畿教区信徒会主催
『女性のつどい』開催について

上記の案内のとおり、7月15日(月・祝)13時30分より玉水記念館を会場に、中近畿教区信徒会主催の『女性のつどい』が開催されます。

第1部では、香櫨園(こうろえん)教会在籍の武部和加子先生が、「一死生ない父母に巡り会う」と題して、お話しくださいます。

続く第2部においては、金光大阪高等学校軽音楽同好会の皆さんによる、楽しく、力強い演奏を聴かせていただきます。

中近畿教区信徒会女性信奉者お一人おひとりが、日々、「神人の道」が現れてくる生き方を求め表す「稽古」をさせていただき、さらに力強い歩みが進められることを願っております。

どうぞ、お誘いあわせの上、ひとりでも多くの方が参加されますよう、ご案内申し上げます。

6月



日	曜	教会行事	教会長、その他	日	曜	教会行事	教会長、その他
1	土	月頭祈願祭 (14時)		16	日	月例霊神祭・14時 布教部宣教	講師 山田一郎師 (片江教会)
2	日		町内大掃除・8時 典楽練習会・13時30分	17	月		
3	月			18	火		福祉食事会 (11時)
4	火			19	水		
5	水		福祉実務研修会 (10時、福祉センター)	20	木		
6	木		第五企画委員会・教師会 (河堀教会、13時)	21	金		
7	金			22	土		
8	土	月例金光大神祭 (14時)		23	日		天下茶屋教会宣教 (10時30分)
9	日		教団独立記念祭 (8時教会出発)	24	月		
10	月			25	火		だるまっこ (9時) 民生定例会 (13時)
11	火			26	水	みのり編集会議 (10時30分)	
12	水			27	木		
13	木			28	金		
14	金		高齢者疑似体験 (西小) (9時35分)	29	土	道の子大会 (8時教会出発)	
15	土		柴島教会宣教 (10時)	30	日	夏越の感謝祭 (14時)	

6月のご霊神様

北野カズエ乃霊 (昭和 56 年 6 月 6 日帰幽)
 前島嘉次郎彦乃霊 (昭和 20 年 6 月 7 日帰幽)
 吉岡房子姫乃霊 (平成 21 年 6 月 10 日帰幽)
 今コユウ刀自乃霊 (昭和 3 年 6 月 22 日帰幽)
 安井宗男大人乃霊 (昭和 41 年 6 月 28 日帰幽)

大西清太郎翁乃霊 (平成 7 年 6 月 5 日帰幽)
 川口俊雄乃霊 (昭和 62 年 6 月 6 日帰幽)
 前島フサ刀自乃霊 (昭和 20 年 6 月 7 日帰幽)
 池端春枝乃霊 (昭和 27 年 6 月 20 日帰幽)
 門田寿ず姫乃霊 (昭和 56 年 6 月 25 日帰幽)
 高田徳子比女乃霊 (昭和 53 年 6 月 28 日帰幽)

6月のお誕生 (敬称略)

呉彩友莉、柴田慧斗、池端 望、金山正義、照本将大、北見 遼、
 安井和奏、富山明日香、上田あゆみ、田島佐世

みなさん、おめでとうございます

